

Takasaki
Chamber
Music Society
Mozart Orchestra
21st Regular Concert

高崎チェンバーミュージックソサエティ
モーツァルトオーケストラ 第21回定期演奏会



program
バルトーク
ルーマニア民族舞曲 Sz.68
モーツァルト
ピアノ協奏曲 第24番 ハ短調 K.491
メンデルスゾーン
交響曲 第4番 イ長調 Op.90
「イタリア」



2024

07.07 sun

13:15 開場 / 14:00 開演

会場
高崎芸術劇場
音楽ホール

◆ チケット (全席自由)

一般 ¥1,000 / 高校生以下 ¥500

※未就学児の入場はご遠慮ください。

高崎芸術劇場チケットセンター
027-321-3900

[主催・お問い合わせ]
高崎チェンバーミュージックソサエティ モーツァルトオーケストラ事務局
080-2019-0645(石黒) / tcms.mozart@gmail.com



高崎チェンバーミュージックソサエティ モーツァルトオーケストラ



2011年、4名のアマチュア演奏家が弦楽四重奏の演奏を目的に高崎チェンバーミュージックソサエティを結成した。2013年、さらに県内や近隣の県から仲間が集い室内オーケストラとして高崎チェンバーミュージックソサエティ モーツァルトオーケストラを結成し、モーツァルトの交響曲全曲演奏に挑戦する【モーツァルト交響曲 全曲演奏シリーズ】の活動を開始した。約10年間の活動の末、2024年3月24日の第20回演奏会をもってモーツァルトの交響曲全曲演奏を達成した。本演奏会より、小編成で精緻なアンサンブルを目指す当団のコンセプトを引き続き大切に、モーツァルト以外の曲にも挑戦していく。

ピアノ独奏 藤井亜紀



バロックから現代まで幅広いレパートリー持ち、その演奏は各音楽誌にて高い評価を得ている。ソロのみならずアンサンブルピアニストとしての音楽活動は国境を越えヨーロッパに及び、特筆すべきは、ハンガリーにおいては2003年「ソルノク市立交響楽団」の定期演奏会ソリストとして出演して以来、現在まで同楽団のプルミエールソリストとして毎年招聘され、ヨーロッパツアーにも同行した。09年にはフランス、ル・トゥク国際音楽祭にも招聘された。1998年から始まった東京室内管弦楽団との共演(ソロ・室内楽)は、200公演を優に超え、近年は弾き振りによるバッハのチェンバロ協奏曲全曲シリーズを展開した。国内外の第一線のアーティストからの信頼は篤く、現代作曲家からは作品を献呈され積極的に初演を行っている。ソロ、アンサンブル両分野での幅広い活躍は「W100 ピアニスト ジャンルを超えた女性演奏家たち」(シンコーミュージック・エンタテイメント)で広く紹介された。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、東京藝術大学卒業後渡独し、ミュンヘン国立音楽・演劇大学大学院マイスタークラスを修了。2022年4月より岩手大学教育学部音楽教育科、大学院総合科学研究科・准教授を務め、岩手大学教育学部共催の市民に向けた講座やアウトリーチ活動にも力を注いでいる。

藤井亜紀Website ▶ <http://www.akifujii.jp/>

〈これまでリリースされたCD〉

- ・「Simple Songs」 雲井雅人(サクソフォーン) / 藤井亜紀(ピアノ) (CAFUA/CACG-0093)
- ・「シュトラウス&フランク ヴァイオリンソナタ」 相原千興(ヴァイオリン) / 藤井亜紀(ピアノ) (ベルウッド・レーベル/BW-1502D)
- ・「Aki Fujii plays Chopin Etudes with Pleyel1843
～1843年製プレイエルで描くエチュードという名の芸術～」 (T&Kエンタテインメント/B0BQLNXPYN)
- ・「PRAY to BACH ～祈りの軌跡」 オール・バッハ・プログラム Live Recording (fontec/B0B3FPGNNR)

指揮 ジェフリー・ポール・バドリック Jeffrey Paul Budryk



ニューヨーク出身。ジュリアード音楽学校(ニューヨーク1905年創立)、ピーボディ音楽学校(ボルチモア1857年創立)、でチェロ研鑽を積む。卒業後、ジャクソンヴィル交響楽団やリンゼアン弦楽器四重奏団等でチェリストとして演奏活動を行う。その一方で日本文化に興味を持ち、1998年来日。地域の伝統芸能やバレエにも造詣が深く、交流を深めている。現在群馬県立中央中等教育学校で、音楽と英語の教鞭をとる傍ら、高崎チェンバーミュージックソサエティ・モーツァルトオーケストラ指揮者、フンメルピアノ三重奏、カルテット「友」チェロ奏者など、幅広い活動を行っている。